

# 造成計画平面図

土地の所在

高松市新田町字窪  
甲2383, 甲2384-5, 甲2386-1の一部, 甲2386-2

開発許可  
年月日

第 平成 年 月 日  
号 日

申請者

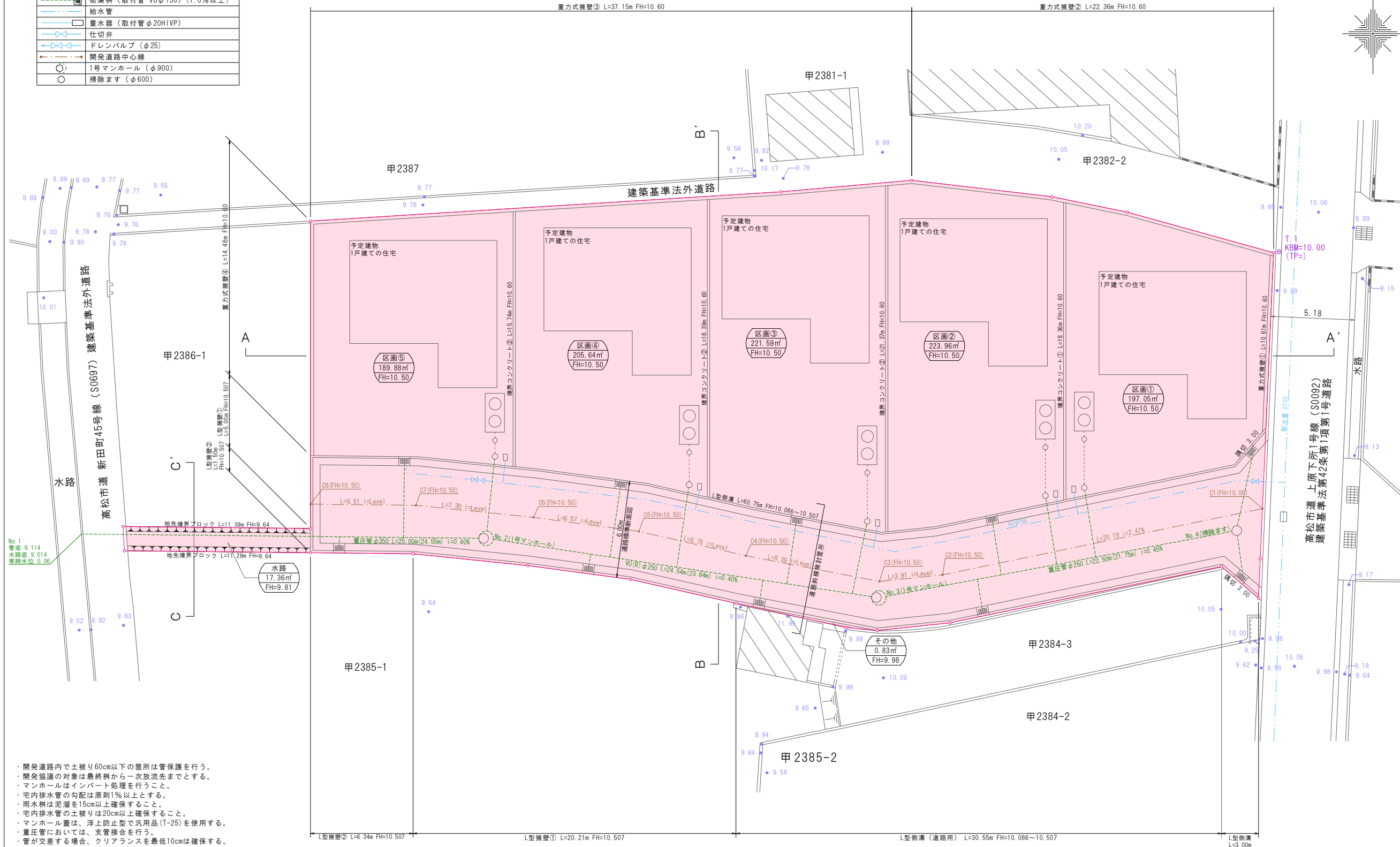
株式会社ライフィックスホールディングス  
代表取締役 向井信朝

作成者  
住所・氏名

高松市川島本町三八番地  
行政書士 横井清英

(印)

| 凡 例 |                           |
|-----|---------------------------|
|     | 開発区域                      |
|     | 排水管                       |
|     | 最終樹 φ350 (取付管 VUφ150)     |
|     | 街乗樹 (取付管 VUφ150) (1.0%以上) |
|     | 給水管                       |
|     | 量水器 (取付管 φ20H1VP)         |
|     | 仕切弁                       |
|     | ドレンバルブ (φ25)              |
|     | 開発道路中心線                   |
|     | 1号マンホール (φ900)            |
|     | 掃除ます (φ600)               |



- ・ 開発道路内で土被り60cm以下の箇所は管保護を行う。
- ・ 開発協議の対象は最終樹から一次放流先までとする。
- ・ マンホールはインパット処理を行うこと。
- ・ 管内排水勾配は原則1%以上とする。
- ・ 雨水樹は泥溜を15cm以上確保すること。
- ・ 管内排水の土被りは20cm以上確保すること。
- ・ マンホール蓋は、浮上防止型で汎用品(T-25)を使用する。
- ・ 重圧管においては、支管接合を行う。
- ・ 管が交差する場合は、クリアランスを最低10cmは確保する。
- ・ 本管がVU(R)の場合マンホール可とう継手を使用する。
- ・ VU(R) (リ付硬質塩化ビニル管)
- ・ 街乗樹のグレーチングの耐荷重は、T-20とする。
- ・ 汚水については合併浄化槽にて処理する。
- ・ 最終樹(φ350)については、深度900mmまでとする。
- ・ 浄化槽処理水は管内最終樹を経由して放流する。

縮 尺

1/250